

令和元年度
行田市水道事業会計
決算について

事業概要

決算書P15

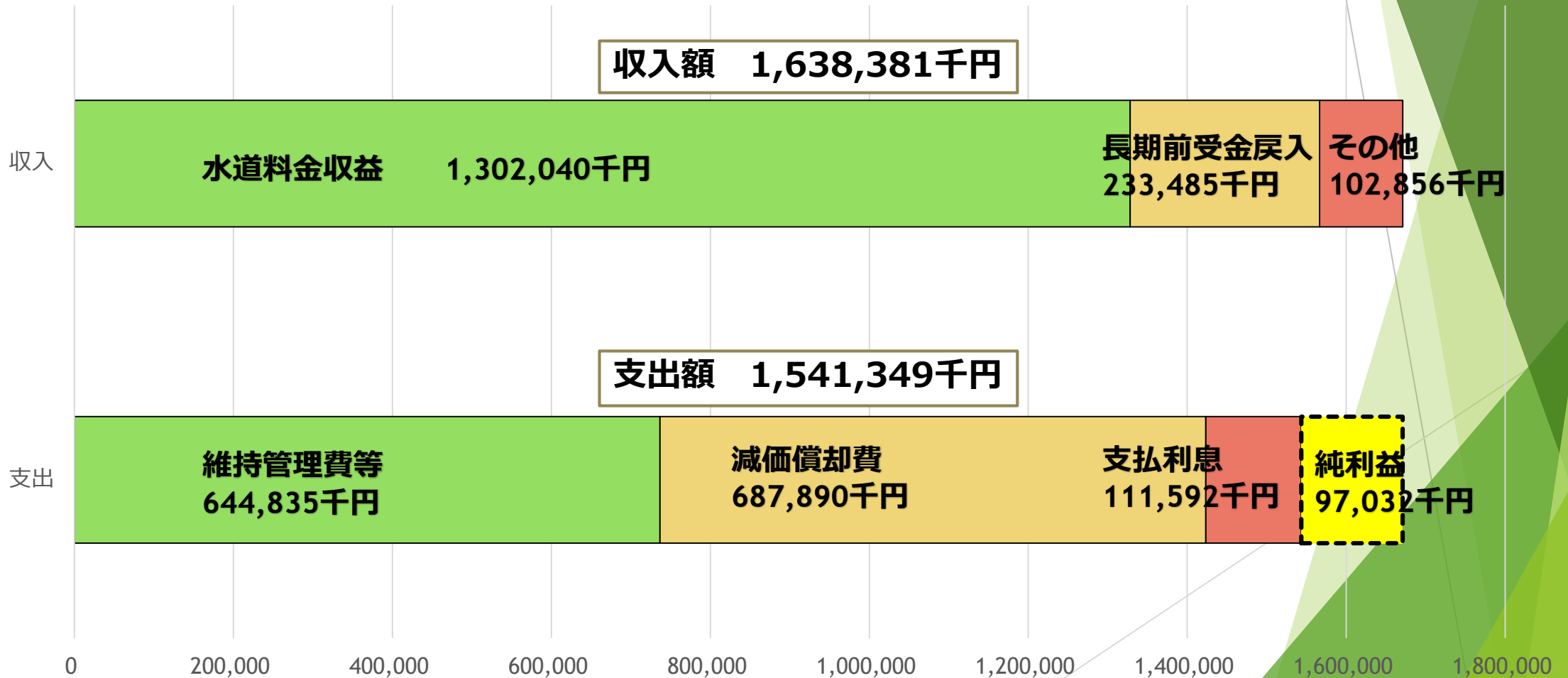
事 項	単 位	令和元年度	平成30年度	前年度との比較		
				増・減	比率 (%)	
年度末給水人口	人	77,598	78,468	△ 870	△ 1.11	
給水区域内人口	人	80,506	81,187	△ 681	△ 0.84	
普及率	%	96.39	96.65	△ 0.26	-	
年度末給水戸数	戸	34,583	34,340	243	0.71	
配水量	年間	m ³	9,660,774	9,716,931	△ 56,157	△ 0.58
	一日平均	m ³	26,396	26,622	△ 226	△ 0.85
有収水量	年間	m ³	8,737,517	8,883,631	△ 146,114	△ 1.64
	一日平均	m ³	23,873	24,339	△ 466	△ 1.91
一日最大配水量	m ³	28,706	29,393	△ 687	△ 2.34	
有収率	%	90.44	91.42	△ 0.98	-	

収益的収支【3条：営業活動の結果】

決算書P1,2,5

水道水を供給して得た収益と
水道水を作って、各家庭に水を配るための経費

(税抜き)

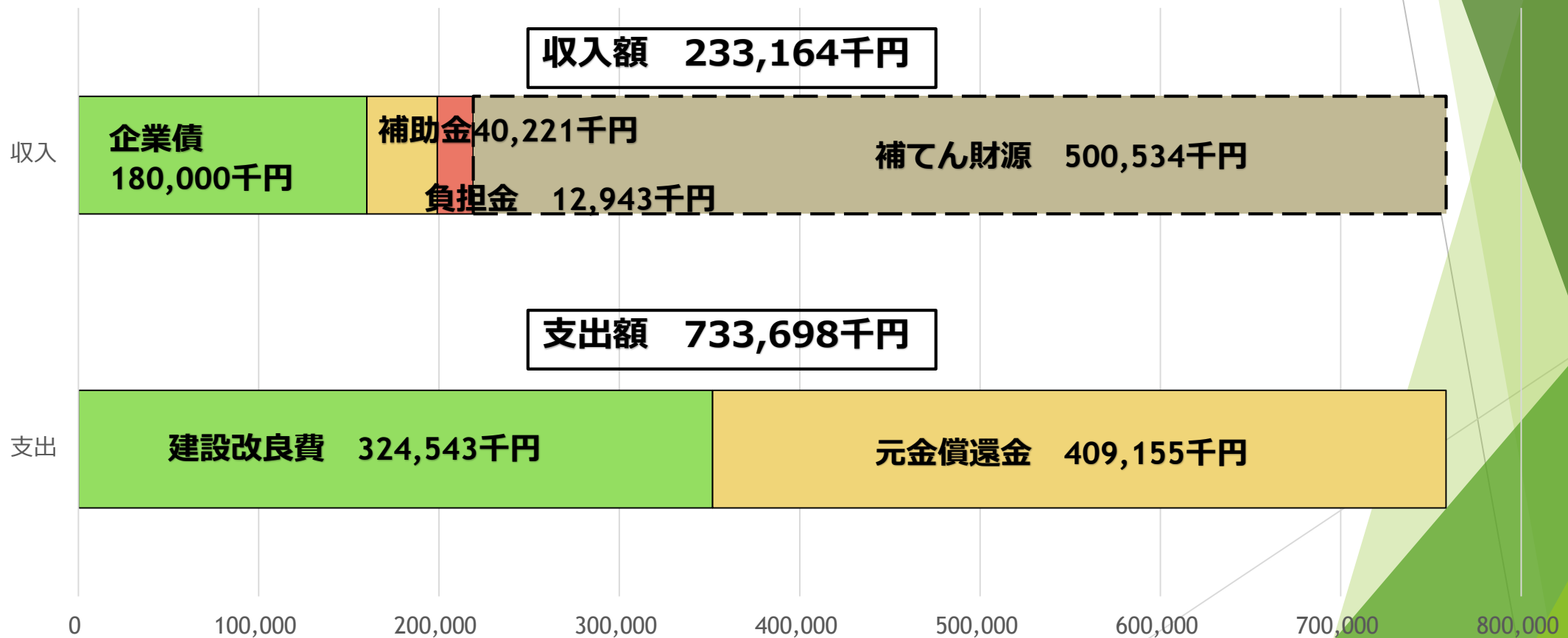


資本的収支【4条：建設部門の結果】

決算書P3,4

水道管を布設するための負担金や企業債（借入金）
水道管布設・施設更新や企業債償還金などの経費

(税込み)



令和元年度に行った事業内容

▶ ボトルウォーター販売休止

- 販売から11年目となりましたが、プラスチックの環境汚染や販売量の減少・製造価格の高騰により休止といたしました。

▶ 委託料

- 令和元年10月消費税の増税により、システム改修委託料やお知らせ通知を検針票時に、消費税に伴う料金改定について、個別配布を行いました。

▶ 工事請負費（4条）繰越金

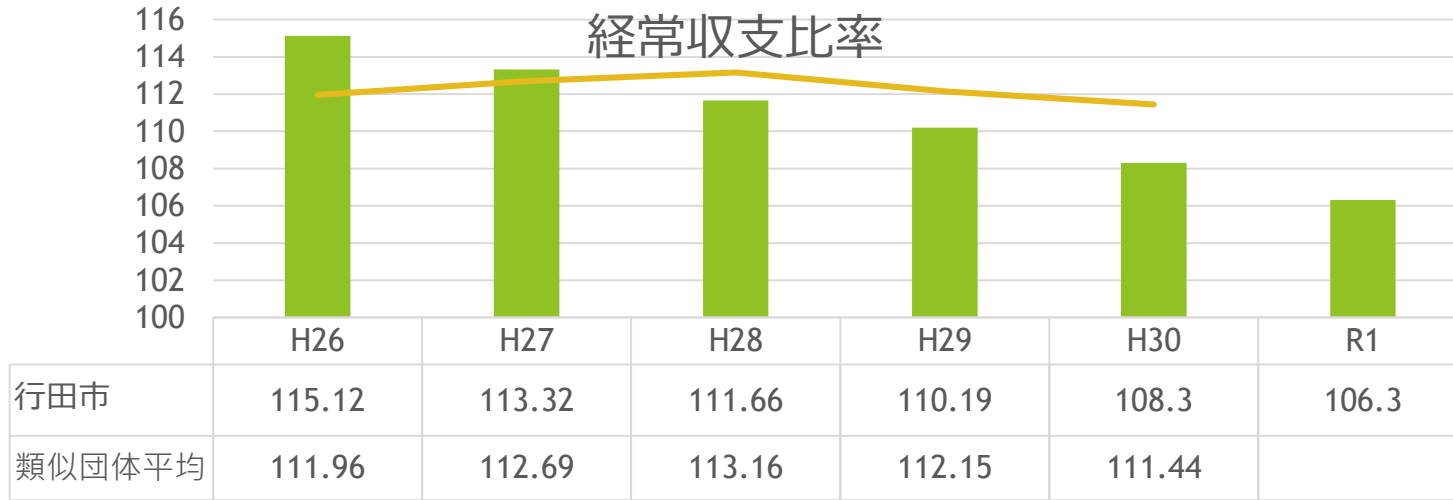
- 40件 287,607,380円
(第10号井取水ポンプ工事・配水管布設工事耐震対策等を実施)

▶ 料金改定に伴う審議会を4回開催

- 諮問答申を経て、令和2年4月から料金改定実施

経営分析

経常収支比率



■ 行田市 — 類似団体平均

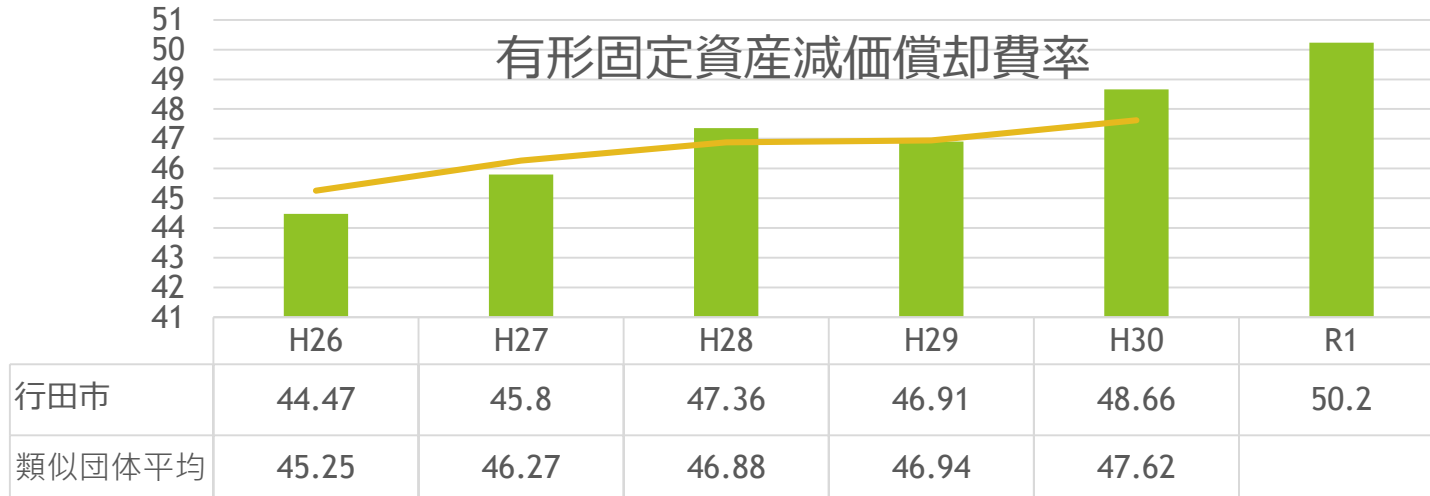
指標の意味

収益（3条）で維持費等がどの程度賄えているかを表す指標。100%以上が良いとされている。

行田市の状況

100%以上であるものの給水収益が減少により、低下しつつある。

有形固定資産減価償却費率



■ 行田市 — 類似団体平均

指標の意味

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。減価償却が進むと耐用年数に近い（老朽化した）資産が多い。

行田市の状況

約50%の資産の減価償却が進んでいる。